

ガザ5日連続で身柄交換

戦闘休止の再延長協議

【エルサレム＝共同】パレスチナ自治区ガザの戦闘休止合意を仲介するカタールと米国などは29日、合意の再延長に向け協議を加速させた。イスラエル首相府は28日、イスラム組織ハマスが拘束する人質のうち、新たに1~84歳のイスラエル人女性10人とタイ人2人の計12人が解放されたと発表。カタール政府によると、これと交換でイスラエルも拘束していたパレスチナ人30人を釈放した。身柄交換は5日連続。〔関連①面〕

イスラエルは、ハマスから29日に解放予定の人質のリストを受け取った。10人となる見込みだが、ハマスは依然、一百数十人の人質を拘束中とみられる。戦闘休止は29日朝（日本時間同日午後）、最終予定日の6日自に入つた。5日間でハマスが解放した人質は外国人を含め81人、イスラエルが釈放したパレスチナ人は180人。イスラエル軍は戦闘休止の終了後、地上侵攻をガザ北部から南部に拡大する方針だ。

米メディアによると、中央情報局（CIA）のバーンズ長官は28日、カタールでムハンマド首相兼外相やイスラエルの対外特務機関秘会談し、ハマスが拘束する男性や軍関係の人質の解

放に向けて交渉を進めるよう要求した。これまでの交渉対象は女性や未成年の人質に限っていた。

バーンズ氏は米国人人質

8~9人の即時解放も求めた。プリンケン米国務長官は今週後半にイスラエルを再訪する予定。

中東メディアは29日、ガザ南部の海岸にイスラエル軍の砲撃があつたと伝えられた。軍は28日、ハマスの10月の奇襲で拉致された兵士3人の死亡を確認したと明らかにした。

イスラエル政府は、ハマスが人質10人を追加解放す

ている。外国人の解放は合意とは別枠で、男性も含まっている。ハマスが28日に公開した映像では、群衆に囲まれる中、人質が赤十字に引き渡された。ハマスは、共闘するガザの過激派は、

「イスラム聖戦」と共に引き渡したと表明した。ガザ当局によると、戦闘によるガザ側の死者は1万5千人以上となつていて、イスラエル側の死者は約1200人。

「イスラム聖戦」と共に引

き渡したと表明した。

ガザ当局によると、戦闘によるガザ側の死者は1万5千人以上となつていて、イスラエル側の死者は約1200人。